

バラクーダネットワークスジャパン

あらゆる規模に対応した Barracuda Spam Firewall

バラクーダネットワークスのBarracuda Spam Firewallは、現在世界出荷台数3万台以上を誇る、プラグ&プレイによる容易なインストールを可能にするアプリケーションタイプのファイアウォールである。

迷惑メールとは

昨今迷惑メール(スパム、スパムメール)が増加の一途をたどっている。一口に迷惑メールといっても、「単に受信する本人にとって興味のないコンテンツを含むもの」から、ウイルスが含まれていたり、フィッシングサイトへ誘導するもの、あるいはスパイウェアをダウンロードさせるサイトへの誘導を図ったりするものなど多種多様である。

迷惑メールによる被害は一見顕在化していないが、企業に与える影響は決して少なくない。例えば、メールの選別による業務生産性の低下、必要なメールを見逃す危険性、メールト

ラフィックの増加によるサーバーの停止、ウイルスによる情報流出の可能性などが挙げられる。

万全な防御体制

Barracuda Spam Firewallは、こうした被害の発生を未然に防ぐために、すでに迷惑メール大国と化した米国内で開発された。メールサーバーと外部ネットワーク間に設置し、受信メールをまずアプライアンスでフィルタリングするため、過度のメール受信によるサーバーの負担を軽減する。

フィルタリングは、DoS攻撃の防御とセキュリティ対策、ブロックリスト、レートコントロール、2段階のウィルスチェ

ック、ユーザー定義のルール、インテンション解析、ページアン解析、そしてルールベーススコアリング等の複数の技術的手法を採用することで、あらゆる迷惑メールやウイルス攻撃に対応している。

新種の迷惑メールやウイルス情報は、バラクーダセントラルにて集められた最新の情報を「バラクーダエネルギー充填サービス」により、自動で各アプライアンスにアップデートされるので、メンテナンスの負担

を確実に軽減する。また日本語を完全サポートしており、設定画面やログ、詳細レポートを日本語で閲覧し、メールの自由なルーティング/フィルタリングが行える。

アウトバウンドも重要

迷惑メールは、ついインバウンドで考えてしまうが、自分の企業からボットなどの遠隔操作や社内の人物により、意図せずに迷惑メールを大量に発信してしまう可能性があることも考慮する必要がある。Barracuda Spam Firewallは対策として、別にアウトバウンドモードも提供している。

充実した製品ラインナップ

製品シリーズとして、小規模から大規模までのあらゆる企業組織に適用した計6種類のラインナップを取り揃えており、最大1日約2250万のEメール、3万のアクティブユーザー、5000のドメインまで対応している。

ユーザー数によるライセンスは一切必要なく、クライアント数の増加に伴うコスト増を抑制できる。また本製品とは別にスパイウェア対策に特化したBarracuda Spyware Firewallも5つのモデルを展開している。

お問い合わせ先

バラクーダネットワークスジャパン株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9
日比谷セントラルビル 14F
TEL 03-5532-7274
URL <http://www.barracudanetworks.jp>



Barracuda Spam Firewall
200/300/400 シリーズ

Barracuda Spam Firewall
600 シリーズ

Barracuda Spam Firewall
800/900 シリーズ